
平成27／令和2年度用 小学校 図画工作 教科書

令和2年度に旧教科書の下巻を 使用する場合の移行措置資料

開隆堂

令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料

令和2年度から新学習指導要領に対応した図画工作科の新しい教科書が配布され、使用が開始されることとなります。

図画工作科の教科書は、1年～6年で6分冊になっていますが、その内訳は学習指導要領の示し方に沿った、低（1・2年上下巻）、中（3・4年上下巻）、高（5・6年上下巻）の括りで、それぞれ2年間の使用になります。

令和2年度は、低（1年）、中（3年）、高（5年）学年に、新しい教科書が配布されます。

しかし、令和元年／平成31年度に旧学習指導要領に対応した教科書が配布、使用されていた、低（1年）、中（3年）、高（5年）学年は、令和2年度も、引き続き継続して低（2年）、中（4年）、高（6年）学年の教科書を使用することになります。

そこで、令和2年度に使用する、低（2年）、中（4年）、高（6年）学年の教科書に関して、新学習指導要領に対応した内容の移行措置が必要になります。

新、旧の学習指導要領の基本的な考え方である「生きる力」を培う目標や内容には大きな変更はありません。新学習指導要領の趣旨は、授業において「生きる力」を培う「目標」、つまり「子どもに培う三つの資質・能力」を明確にし、それらを授業に反映させるための「授業デザイン」として「主体的、対話的な学び」の大切さが述べられています。

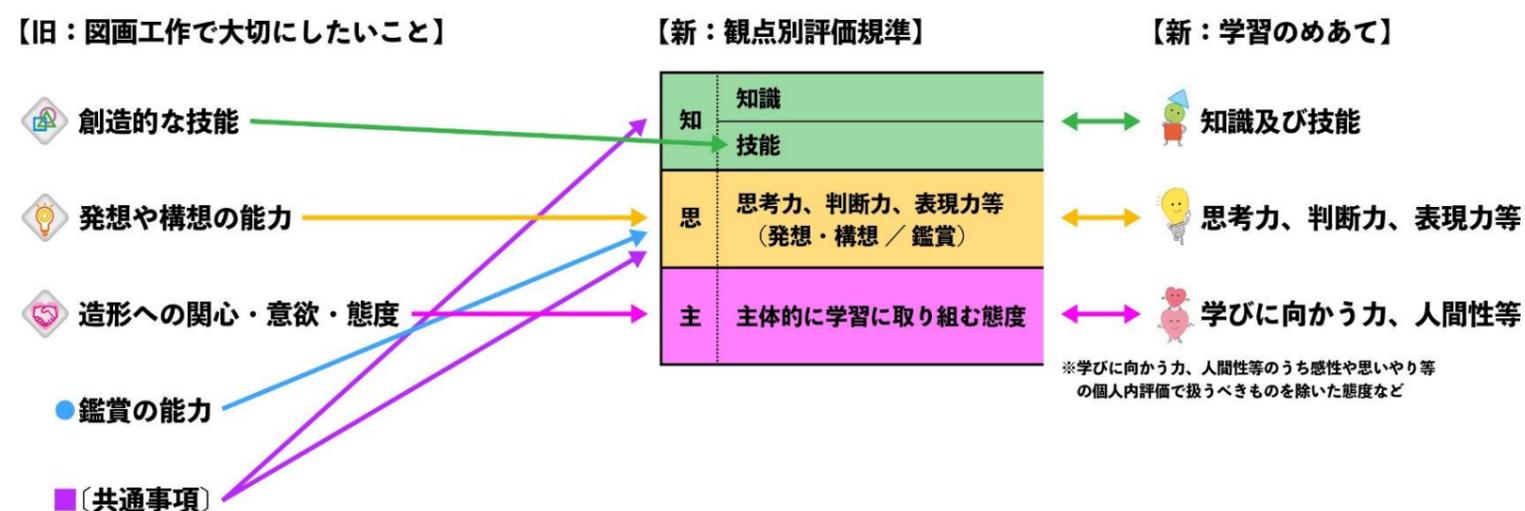
開隆堂の旧学習指導要領に対応した図画工作科の教科書は、すでに新学習指導要領の趣旨や内容の扱い等を先取りし、十分に折り込んでいて、大きな変更点はありませんが、新旧の学習指導要領の「目標（学習のめあて）」や「観点別評価規準」、あるいは文言の扱いの変更等、多少の移行措置が必要になるところがあります。

題材の「目標」は、新学習指導要領の子どもに培いたい「三つの資質・能力」に対応するように、すでに「三つの図画工作で大切にしたいこと（学習の三つのめあて）」として、以下のように設定されています。

- 🎨 形や色、方法や材料を工夫する力
- 💡 試したり、見つけたり、考えたりして思いつく力
- 🤝 心を開いてたのしく活動し、友達と関わり、協力し合う力

これらは各題材において、最も大切にしたい「中心的な目標（学習のめあて）」として一つ取り上げ、題材の紙面に示されています。こうした捉え方は、すでに新学習指導要領の「目標（学習のめあて）」に対する考え方をすでに実現していると言えるでしょう。

しかし、「目標（学習のめあて）」と「観点別評価規準」の文言の扱い方には変更があり、その関係性を捉えたものが以下の図になります。



- 次の各項目は、低(1・2年下巻)、中(3・4年下巻)、高(5・6年下巻)学年の全ての題材について、「目標（学習のめあて）」や「観点別評価規準」についての新旧の移行、あるいは文言等の扱い方の変更を表にまとめたものです。

本資料において、旧教科書の学習のふり返りを以下の項目で示しました。
 関：「造形への関心・意欲・態度」に関するふり返り 発：「発想や構想の能力」に関するふり返り
 創：「創造的な技能」に関するふり返り 鑑：「鑑賞の能力」に関するふり返り
 また、新学習指導要領に沿った観点別評価規準を以下の項目で示しました。
 知：知識及び技能の観点 思：思考、判断、表現の観点 主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

- 本移行措置は、令和2年度の、2年生、4年生、6年生に配布されている教科書に対応したもので、令和3年度以降は、全ての学年に新教科書が配布されます。

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
すきなことなあに	絵	2~4	<p>日常生活でしたことや見たことの喜びや驚きを素直にのびのびと絵に描くたのしさを味わう。学校や家で、友達や家族と遊んだこと、たのしいことや面白いと感じたことなどから好きなことを見つける。表したい場面を思い浮かべながら、クレヨンやカラーペンなどを用いて、表し方を考えて表す。</p> <p>〔共通事項〕との関連 したことや見たことから感じたことなどを見つけ、好きな色を選ぶなどしながら形や色を捉え、これをもとに表したいことについてのイメージをもつ。</p>	<p>目標 表したい場面の描き方を工夫する。</p> <p>関 ● したことや見たことをたのしく描きましたか。</p> <p>発 ● 一番描きたい場面を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 好きな色で、気に入った形になるように工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づいている。</p> <p>表したい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。</p> <p>思 経験をもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。</p> <p>主 自分が好きなことを絵に表すことに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 自分が好きなことを見つけ、表したい場面になるように、形や色、描き方を積極的に工夫して表している。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙（八つ切り、16切りなど）</p> <p>児童：クレヨン、パス、カラーペンなど</p>
くっつき マスコット	工作	2~4	<p>磁石の特性を生かしながら、紙粘土で好きな形をつくり、遊べるものや飾れるものをつくる。好きな形をつくり、裏に磁石をつけて、用途に合う形や仕組み、模様や色を工夫して、実際に使えるものをつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して紙粘土を使い、形や色、質感を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 磁石でくっつくマスコットを工夫する。</p> <p>関 ● くっつきマスコットをたのしくつくりましたか。</p> <p>発 ● くっつく面白いまスコットを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色、くっつき方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 遊んだり、実際に使ったりすることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。</p> <p>くっついたり、離れたりする磁石の特性を生かした形や色、しかけなどを試しながら工夫して表している。</p> <p>思 磁石の特性をもとにつくりたいものを思いつき、どのように表すかを考えている。</p> <p>主 磁石を利用したおもちゃや飾りをつくることに興味をもち、たのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 磁石の特性を効果的に生かした形や色、しかけなどの表し方を工夫して表すとともに、遊んだり、実際に使ったりすることを通して、作品の形や色のよさ、面白さに気づいている。</p>	<p>教師：紙粘土、磁石</p> <p>児童：絵の具</p>
えのぐじま	絵・鑑賞	4	<p>自分の感覚を形や色にたとえ、絵の具を塗る快さ、気持ちよさを味わいながら、心を開いて思いのままに表すことのたのしさを知らせる内容である。ここでは、「えのぐじま」や「にじのふるさと」などの言葉から思いついた形や色で塗って(ペインティング)表す。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 筆で絵の具を塗ることをたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● 絵の具と筆を使ってたのしく描きましたか。</p> <p>発 ● 描きたい「えのぐじま」を思いつきましたか。</p> <p>創 ● 筆を大きく動かして、描き方を工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 絵の具を塗る気持ちよさを感じ取りましたか。</p>	<p>知 互いの作品を見合うことを通して、互いの「えのぐじま」の形や色、筆触の違いなどに気づいている。</p> <p>筆の太さや手を動かす速さや強さによる筆触、色使いなどを試しながら、工夫して表している。</p> <p>思 「えのぐじま」「にじのふるさと」などの言葉から表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。</p> <p>☆ 主 絵の具を筆で塗る快さを味わいながら、心を開いてたのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 絵の具を筆で塗る快さを体全体で十分に味わいながら、心を開いてのびのびとたのしく取り組もうとしている。</p>	<p>教師：四つ切り画用紙、ポスターカラー等の共同絵の具、絵の具の容器と太い筆</p> <p>児童：太い筆(筆は教師または児童が持っている太い筆 約30本)</p>
土って 気持ちがいい	造形遊び	2	<p>手や素足で土や砂を使って、山にしたり、トンネルをほったり、水を加えて泥にしたりして、土や砂の触り心地を体全体を使ったのしむ造形遊びの活動である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 土や砂の感触から、やってみたいことを思いつき、活動を通して自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 土や砂などで、体全体を使った活動をたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● 土や砂を使って、たのしく活動しましたか。</p> <p>発 ● 土や砂を触った感じから、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>創 ● 土や砂を使って、どんなことを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 土や砂のよさを体全体で感じ取りましたか。</p>	<p>知 土や砂に触れる活動から自分の感覚や行為を通して形や色、材質感などの特徴に気づいている。</p> <p>手や体全体の感覚などを働かせ、土や砂などをほる、盛り上げる、固めるなどを試しながら工夫している。</p> <p>思 土や砂の触った感じをもとに、自分のイメージをもちながらどのように表すかを考えている。</p> <p>☆ 主 土や砂の触った感じを味わいながら思いついたことを、体全体を使って行っている。</p>	<p>☆ 土や砂の触った感じを味わいながら思いついたことを、体全体を使って積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>教師：土、砂、バケツ、ホース</p> <p>児童：タオル</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
にじいろコレクション	造形遊び	2	<p>水に絵の具やインクを混ぜて色水をつくり、透明の容器に移して色を比べたり、光にかざして見たりする。たくさんの色水から好きな色を集めたり、色の特徴に注目し、友達と並べ方を工夫したりしながら、色のよさや面白さを発見する。</p> <p>〔共通事項〕との関連 色水をつくり、それらを並べたりしながら、形や色の感じを捉え、これをもとに活動のイメージをもつ。</p>	<p>目標 色水をつくり方や並べ方を試したり、見つけたりする。</p>	<p>知 色水をつくり方や並べたりすることを通して、混ぜたときの色の変化や並べたときの形や色の面白さに気づいている。</p>	<p>☆ できた色水の色や、容器の形から豊かに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。</p>	<p>教師：共同絵の具、インク（染料）</p> <p>児童：ペットボトル、透明容器</p>
				<p>関 ● 色水をつくり、並べたりすることをたのしみましたか。</p>	<p>知 いろいろな色色水をつくり、好きな容器に入れて並べたりするなど、活動を工夫してつくっている。</p>		
				<p>☆ 発 ● 色水を使って、してみたいことを思いつきましたか。</p>	<p>☆ 思 作った色水の色や、容器を並べた形をもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するかを考えている。</p>		
				<p>☆ 創 ● 色水をつくり方や並べ方を工夫しましたか。</p>	<p>主 色水をつくり、並べたりすることに関心をもち、思いついた活動にたのしく取り組もうとしている。</p>		
つづきえ どんどん	絵	2	<p>好きなものなどをもとに1枚目の絵を描く。次に、初めに描いた絵をもとにお話を考えながら2枚目、3枚目と続きの絵を描いていく。これを繰り返し、想像を広げていくのしさを味わいながら、自分らしい造形的な表現を追求したり、発見したりする。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、描いた絵の形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 紙のつなぎ方を試したり、見つけたりしてお話を思いつく。</p>	<p>知 紙を貼って次の絵を足すことで、時間の経過や世界の広がりなどの視点でお話を広げながら絵を描けることに気づいている。</p>	<p>☆ 紙を貼り足して絵を描くことで時間の経過や世界の広がりなど自分のイメージを豊かにしながら何をどのようように描くかを効果的に考えている。</p>	<p>教師：小さく四角く切った画用紙(約10cm四方一人10枚程度)</p> <p>児童：クレヨン、パス、カラーペン、セロハンテープ</p>
				<p>関 ● 想像を膨らませて、たのしく描きましたか。</p>	<p>知 紙を貼る位置によってお話に変化をもたせるなど、自分なりに試しながら工夫して表している。</p>		
				<p>☆ 発 ● つながるお話を思いつきましたか。</p>	<p>☆ 思 紙を貼り足して絵を描くことで時間の経過や世界の広がりなど自分のイメージをもちながら何をどのようように描くかを考えている。</p>		
				<p>☆ 創 ● お話の様子や紙のつなぎ方を工夫しましたか。</p>	<p>主 お話を考えながら絵を描くことをたのしんでいる。</p>		
ギュッとしたいわたしの「お友だち」	立体	4	<p>まずクラフト紙を手でもんで柔らかくし、二つに折って、動物などの自分の好きな形を描いてはさみで2枚重ねて切り取る。次に木工用接着剤で袋のように貼り、中にもんで丸めた新聞紙を詰めて形をつくる。紙のもむと柔らかくなり、触り心地がよくなるという性質を生かしてつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 もんだ紙の感触を味わいながら、自分の感覚や活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 もんだ紙を膨らませ、思いついた「お友だち」の形や色を工夫する。</p>	<p>☆ 知 紙の大きさや触り心地など材料の特徴から生まれる「お友だち」の形や色の美しさや面白さに気づいている。</p>	<p>☆ 紙の大きさや紙の形、紙のもみ方、紙の貼り方などによる「お友だち」の特徴の変化に気づき、自分がつくりたい「お友だち」になるように積極的に工夫して表している。</p>	<p>教師：クラフト紙(一人全紙1枚)、木工用接着剤、マーカー</p> <p>児童：はさみ、新聞紙、色紙、カラーペン</p>
				<p>関 ● 「お友だち」をつくることをたのしみましたか。</p>	<p>知 紙の大きさや紙の形、紙のもみ方、紙の貼り方や中身の詰め込みなどを工夫して表している。</p>		
				<p>発 ● どんな「お友だち」をつくるか思いつきましたか。</p>	<p>思 もんだ紙の感触を味わいながら、自分の表したい「お友だち」を考えたり思いついたりしている。</p>		
				<p>☆ 創 ● 形や色、材料の使い方を工夫しましたか。</p>	<p>主 もんだ紙で自分の「お友だち」をつくることに興味や関心をもって</p>		
どうぶつさんといっしょに	絵	4~6	<p>学校や家庭などで動物と遊んだことをいろいろ思い出しながら、好きな動物と自分との関わり合いを周囲の情景も含めて表すようにする。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 表したい場面の描き方を工夫する。</p>	<p>☆ 知 互いの作品を見合うことを通して、動物やまわりの様子の形や色のよさに気づいている。</p>	<p>☆ 絵に表したり友達の作品を見たりすることを通して、描かれたものの形や色のよさに気づくとともに、自分が伝えたいことが効果的に伝わるように、描画材料を選んだり表すものの形や色、描き方を工夫したりして表している。</p>	<p>教師：画用紙(四つ切り、または八つ切り)、(色画用紙)、共同絵の具</p> <p>児童：クレヨン、パス、カラーペン</p>
				<p>関 ● 動物と自分をたのしく描きましたか。</p>	<p>知 表してみたい場面になるように、形や色、描き方を工夫して表している。</p>		
				<p>発 ● 一番描きたい場面を思いつきましたか。</p>	<p>思 動物を見たり動物と遊んだりしたときの気持ちをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。</p>		
				<p>☆ 創 ● 描きたい場面になるように、形や色を工夫しましたか。</p>	<p>主 動物を見たり動物と遊んだりしたときのことを思い出しながら、たのしく活動に取り組もうとしている。</p>		
<p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>							

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
ひみつの グアナコ	立体	2	<p>土粘土の感触を味わいながら、「グアナコ」という言葉からイメージを広げ、自分の考えた生き物や動物を想像し、粘土の塊をのばしたり、丸めたり、つまみ出したり、組み合わせたりして、つくりながら工夫する。</p> <p>油粘土でも同様の活動を行うことができる。また、「グアナコ」以外にも、「パール」「オカビ」などの名前の動物からイメージを広げることできる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 粘土の感触を味わいながら、想像を膨らませて、自分のつくりたいもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 粘土でつくり方を試したり、見つけたりして、言葉から想像した生きものを思いつく。</p> <p>関 ● グアナコをたのしくつくりましたか。</p> <p>☆ 発 ● グアナコという言葉から、どんな生きものを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● ひねったり、つまみ出したりして、形を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達のグアナコのよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 手で粘土の塊へ働きかけることを通じて、粘土の形や質感がさまざまに変化する面白さに気づいている。</p> <p>知 粘土の塊をひねる、つまむ、穴を開けるなど、手や体全体の感覚を働かせながら、表し方を工夫して表している。</p> <p>☆ 思 言葉のもつイメージから発想を広げ、自分の「グアナコ」を、粘土を操作しながら思いついている。</p> <p>主 言葉から想像した動物や生き物をつくること興味や関心をもっている。</p>	<p>☆ ひねったりつまんだりするなど、粘土の塊に積極的に働きかけるなかで、自分が思い描いた「グアナコ」を豊かに発想し、どのように表すかを考えている。</p>	<p>教師：土粘土（一人1kg程度）、粘土板、粘土べら</p> <p>児童：（油粘土）、タオル</p>
コロコロ大さくせん！	工作	2~4	<p>転がすボディ部分と転がるエンジン部分の組み合わせを考えて、転がるとたのしいおもちゃをつくる。ボディ部分には空き容器や空き箱など、エンジン部分にはビー玉やゴムボールなどを使い、何がどのように転がったらたのしいかを考えたり、見つけたり、試したりして工夫する。ボディ部分は色紙や身近な材料などで加飾してつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 コロコロと転がる仕組みから思いついた形や色の組み合わせを考えて、自分のつくりたいおもちゃのイメージをもつ。</p>	<p>目標 転がり方を試したり、見つけたりして、動くおもちゃを思いつく。</p> <p>関 ● 転がるおもちゃをたのしくつくりましたか。</p> <p>☆ 発 ● 転がり方からおもちゃを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 転がり方に合う形や色を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● たのしく動かして遊びましたか。</p>	<p>知 転がる動力源であるコロコロエンジンと、かぶせる容器の組み合わせで多様な転がり方や動きが生まれることに気づいている。</p> <p>知 転がり方や動きから得たイメージをよりよく表すために、形や色を工夫して表している。</p> <p>☆ 思 動きの特徴をもとに自分のイメージをつかんだり、動きを変化させて新しいイメージをもったりして考えている。</p> <p>主 動きの特徴に関心をもち、いろいろな材料やつくり方を試しながらつくることをたのしんでいる。</p>	<p>☆ 動きの特徴をもとに自分のイメージをつかんだり、動きを変化させて新しいイメージをもったりしながら造形的な活動を思いつくとともに、装飾を加えて再度イメージを確かめて修正するなど、豊かに試行しながら考えている。</p>	<p>教師：色画用紙、厚紙、マップピン、軽量紙粘土、立体シール、坂道用の板</p> <p>児童：空き容器や空箱、テープなどの芯、ビー玉、ゴムボール（スーパーボール）、ゴルフボール、ガチャポン容器、身近な材料、カラーペン、はさみ、セロハンテープ、化学接着剤</p>
ぼかしあそびで	絵	2~4	<p>クレヨンやコンテ、パスなどの描画材料を用いたぼかし遊びから模様づくりをたのしみ、できた模様からイメージを膨らませて、思いついたことを描き足し、絵に表す内容がある。</p> <p>〔共通事項〕との関連 ぼかし遊びからできた模様から形や色を捉え、表したいことや自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 いろいろなぼかし方を工夫する。</p> <p>関 ● ぼかし遊びをたのしみましたか。</p> <p>発 ● ぼかしてできた形や色から描きたいものを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● いろいろなぼかし方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 いろいろなこすり方を試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさや面白さに気づいている。</p> <p>知 いろいろなこすり方を試したり組み合わせたりしながら工夫して表している。</p> <p>思 クレヨンやパスをぼかした形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。</p> <p>主 クレヨンやパスを用いたぼかし遊びに関心をもち、たのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ クレヨンやパスのいろいろなぼかし方を積極的に試すことを通して、そこから生まれる形や色の美しさや面白さに気づき、表したいことに応じてぼかし方を選んだりそれらを組み合わせたりするなど、工夫して表している。</p>	<p>教師：コンテ、黒板用チョーク、画用紙、色画用紙（四つ切り、八つ切り）</p> <p>児童：クレヨン、パス、ティッシュペーパー、はさみ</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標と振り返り			
切って、ひねって、つなげると	造形遊び	2	<p>牛乳パックや紙コップなどを切り開いて、ひねったり、ホチキスでつなげたりして、形を変化させていくのしさを味わう。ばらばらにならないように切り開き、新しい形につくり変えたりつなげたりして、立体的な形やひねったことによってできる空間をたのしむ造形遊びの内容である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 牛乳パックや紙コップを切り開いたり、ひねったり、つなげたりする活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 紙パックの切り方やひねり方、つなぎ方を試したり、見つけたりする。</p> <p>関 ● 紙パックを使ってたのしく活動しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 切ったり、ひねったりしながら、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 紙パックの切り方やひねり方、つなぎ方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 途中で切り落とさないという条件で紙パックを切ってひねってつなげると新しい形が生み出せることに気づいている。</p> <p>知 はさみなどの用具を体の一部のように扱い、手や体全体の感覚を働かせて、紙パックの切り方やひねり方、つなぎ方などを工夫して表している。</p> <p>☆ 思 紙パックを切ったりひねったりしてつなげると生まれる形や色をさまざまに試しながらイメージを広げている。</p> <p>主 紙パックを切り開いて、つなげて形を変えていく活動をたのしんでいる。</p>	<p>☆ はさみなどの用具を体の一部のように扱い、手や体全体の感覚を働かせて、紙パックを切ったりひねったりしてつなげると生まれる形や色を豊かに試しながらイメージを広げている。</p>	<p>教師：ホチキス 児童：牛乳パック、紙コップ、はさみ</p>
キラキラシャボンで	絵	4	<p>石鹸水と絵の具で色シャボン水をつくり、長くつないだストローで吹いて泡立たせ、容器の上に出てきた泡の形を画用紙に写してできる模様づくりをたのしむ。何枚か繰り返し試み、模様づくりの工夫をする。乾かした後、写した泡の模様を生かし、思いついたことをもとにお話を考えながらクレヨンやカラーペンで描き足し、自分の思いを深めていく。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、泡のできる模様の形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 泡の形や色から思いついたことを描いてたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● 泡で模様をつくることをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 泡の形や色からどんなお話を思いつきましたか。</p> <p>創 ● お話に合わせて、描き方を工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 泡の形や色の面白さを感じとりましたか。</p>	<p>知 絵の具の泡模様の形や色の美しさや、泡の形や色を組み合わせた美しさなどに気づいている。</p> <p>知 絵の具の泡のつけ方、並べ方、色の組み合わせ方などを工夫して表し、結果としての泡模様から思いついたお話の描き方を工夫して表している。</p> <p>思 泡のつけ方や色をさまざまに試し、できた泡の形や色から自分のイメージをもち発想を広げている。</p> <p>☆ 主 泡で模様をつくり、絵に表すことをたのしんでいる。</p>	<p>☆ 泡のつけ方や色をさまざまに試し、できた泡の形や色から自分のお話を思いつき、泡の形や色の特徴を生かしてお話の絵を描くことをたのしんでいる。</p>	<p>教師：石鹸、洗剤、共同絵の具、画用紙、色画用紙（四つ切り、八つ切り） 児童：ストロー（一人3本）、クレヨン、バス、カラーペン、空き容器(カップ類)、エプロンやスマック、セロハンテープ</p>
ちきゅうからの おくりもので	造形遊び	2	<p>落ち葉や小枝、木の実などの自然材料の形や色の面白さを見つけながら、造形的な活動をする造形遊びの内容である。また、さまざまな実情で落ち葉などの自然材料を入手できない地域や学校には、落ち葉の代わりに割り箸でも活動できるようにした。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自然材料の並べ方や組み合わせ方を試しながら、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 自然の材料の並べ方や組み合わせ方を試したり、見つけたりする。</p> <p>関 ● 自然の材料のを使って、たのしく活動しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 材料の形や色から、してみたいことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 並べ方や組み合わせ方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 自然の材料を集める活動を通し、自然の中の材料の形や色などのよさに気づいている。</p> <p>知 自然の材料の形や色の美しさを生かし、並べたり、つないだり、積んだりするなど手や体全体の感覚などを働かせ、工夫して表している。</p> <p>☆ 思 集めた材料の形や色、材質などから活動を思いついたり、考えたりしている。</p> <p>主 自然の材料を集め、形や色などから思いついた活動をたのしんでいる。</p>	<p>☆ 自然の材料の形や色、材質などをもとに、並べたり、つないだり、積んだりする活動を豊かに試し、材料のよさを生かした活動を思いついたり考えたりしている。</p>	<p>教師：自然の材料(木の実、枝、落ち葉、石など)、接合に使うもの(麻ひも、粘着紙テープなど) 児童：自分で集めた自然の材料、使いたい材料や用具(ひも類、紙テープ)</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
あつめて、ならべて、いいかんじ	工作	4~6	<p>いろいろな形や色の落ち葉を集め、材料の形や色、大きさなどを考えて、並べる、重ねる、組み合わせるなど造形的な工夫をして、貼り絵に表す。また、さまざまな実情で落ち葉などの自然材料を入手できない地域や学校には、落ち葉の代わりにお花紙で、同様の貼り絵をたのしめるようにした。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 材料の並べ方や貼り方を工夫する。</p>	<p>☆知 材料の形や色の並べ方を工夫すると生まれる新しい美しさに気づいている。</p> <p>☆知 和紙を台紙にして材料の形や色を並べて貼る方法を、手や体全体の感覚などを働かせ、工夫して表している。</p> <p>☆思 集めた材料を並べる、重ねる、組み合わせるなど、自分の考えや感覚を大切にしながら想像を広げている。</p> <p>☆主 材料の形や色、感触などを生かした活動をたのしんでいる。</p>	<p>☆ 材料の形や色の並べ方を豊かに工夫し、手や体全体の感覚などを働かせ、形や色の並べ方を工夫して効果的に表している。</p>	<p>教師：習字用の半紙や障子紙、鳥の子紙などの和紙またはトレーシングペーパーなどの薄紙、工作用紙や間伐材のテープ、洗濯のり、はけ、画板</p> <p>児童：太筆、タオル、はさみ</p>
				<p>関 ● 飾るものをたのしくつくりましたか。</p>			
				<p>発 ● 並べたり、重ねたりしながら、飾るものを思いつきましたか。</p>			
				<p>☆創 ● 材料の形や色、並べ方や貼り方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>			
カッターナイフタワー	工作・鑑賞	6	<p>カッターナイフで紙を切る技能を正しく身につけ、窓の切り抜き方や模様の切り抜き方、紙の折り方などを試しながら立体的なタワーをつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 紙を折って立てた形や、カッターナイフで切り込みを入れた形、画用紙の色などから自分が表したいもののイメージを捉える。</p>	<p>目標 カッターナイフで、紙の切り方を工夫する。</p>	<p>☆知 カッターナイフで切った線の美しさや、カッターナイフだからこその表現のよさに気づいている。</p> <p>☆知 安全で正しいカッターナイフの扱い方を身につけ、紙に美しく切り込みを入れて立体的に表す方法を工夫している。</p> <p>☆思 紙の折り方や窓の形、画用紙の色の組み合わせ方などをさまざまに試しながら考えている。</p> <p>☆主 カッターナイフで紙を切る快さを味わいながら紙工作をすることをたのしんでいる。</p>	<p>☆ 安全で正しいカッターナイフの扱い方を身につけ、カッターナイフで切った線の美しさを効果的に生かしながら切り込みを入れて立体的に表す方法を工夫している。</p>	<p>教師：カッターナイフ、カッターナイフ用マット、色画用紙、色厚紙、木工用接着剤</p> <p>児童：折り紙など装飾に使える材料、安全な服装（太ももが露出しない服装など）</p>
				<p>関 ● カッターナイフタワーをたのしくつくりましたか。</p>			
				<p>発 ● つくりたいタワーを思いつきましたか。</p>			
				<p>☆創 ● 紙の切り方や立たせ方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>			
形の「かくれんぼ」 (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	<p>画用紙を複数のパーツに自由に切る。切り取った不定形から思いついたものを描き加え、描いたものを再びパズルのように組み合わせさせて鑑賞する。あるいは、好きなものを描いて切り取り、裏返した形から思いついたものを描く。</p> <p>〔共通事項〕との関連 不定形からイメージを広げ、表現したいものを思いついたのしさを伝える。</p>	<p>目標 もとの形から新しい形を見つけて描く工夫をする。</p>	<p>☆知 不定形の向きを変えたり絵を描き加えたりすると新しい意味が生まれることに気づいている。</p> <p>☆知 不定形の形から見立てたものをわかりやすくしたり面白くしたりするよう工夫して絵に表している。</p> <p>☆思 不定形に切り取った画用紙の形から表現したいものを考えている。</p> <p>☆主 不定形から思いついたものを描く活動に興味をもったのしんでいる。</p>	<p>☆ 不定形の形から新しい意味を豊かに思いつき、思いついたものをわかりやすくしたり、面白くしたり、一目で伝わったりするよう工夫して絵に表している。</p>	<p>教師：画用紙</p> <p>児童：クレヨン、パス、カラーペン</p>
				<p>関 ● 見つけたものをたのしく描きましたか。</p>			
				<p>☆発 ● 形から新しいものを思いつきましたか。</p>			
				<p>☆創 ● 新しいものの形や色を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>			
うつして見つけて	絵	4~6	<p>ローラーや版を使って版遊びを十分にたのしみ、写すことを試したりしながら発想を広げて型紙版画(ステンシル)に表す。写してみたい形や色を工夫したり、いろいろな写し方に関心をもったりしながら表していく。</p> <p>写したもののから想像を広げて、クレヨンやカラーペンなどでかき加えていく。</p> <p>〔共通事項〕との関連 さまざまな形を写し取る活動を通して、形や色を捉え、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 型紙を使った版画の写し方を試したり、見つけたりして、表したいことを思いつく。</p>	<p>☆知 版を並べたり重ねたりして表すことを通して、写るものの形や色の美しさや面白さに気づいている。</p> <p>☆知 版の並べ方や重ね方、写す位置などをいろいろと試すなど、工夫して表している。</p> <p>☆思 ローラー遊びや型紙版画の表現、および版の組み合わせなどを試しながら表したいことを見つけ、どのように表すかを考えている。</p> <p>☆主 型紙版画の表現に関心を持ち、版で表す活動にたのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 版を並べたり重ねたりすることや、版の組み合わせ方およびローラーの扱い方などを試しながら、写るものの形や色の美しさや面白さをどのように表すかを積極的に考えている。</p>	<p>教師：スポンジローラー、クリアファイルなどの透明シート、カッターナイフ、カッターマット、共同絵の具(版画用水性インク)、練り板、画用紙</p> <p>児童：はさみ、古新聞紙、タオル</p>
				<p>関 ● 版画をつくったり、写したりすることをたのしみましたか。</p>			
				<p>☆発 ● 写し方を試しながら、表したいことを思いつきましたか。</p>			
				<p>☆創 ● 繰り返しや重なりなど、写し方の工夫をしましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>			

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第2学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
かぶって へんしん	工作	4	<p>かぶってたのしむお面や帽子などを、お花紙を使った張り子でつくってたのしむ。新聞紙をつめ込んだビニル袋やプラスチック容器などを組み合わせて型をつくり、のり水をつけたお花紙を貼り重ねて張り子状のかぶりものをつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 お面の形の面白さやお花紙の色の美しさなどをたのしみながら形や色を捉え、自分のつくりたいかぶりもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 お花紙でお面のつくり方を工夫する。</p> <p>関 ● お面をたのしくつくりましたか。</p> <p>発 ● つくりたいお面を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色。紙の貼り方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● お面をかぶって、たのしく変身しましたか。</p>	<p>☆ 知 つくったお面で遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気づいている。</p> <p>思 土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法などをいろいろと試すなど、工夫して表している。</p> <p>主 自分が変身してみたい姿をもとにつくりたいお面を思いつき、どのように表すかを考えている。</p> <p>主 お面をつくって変身することへの興味をもち、たのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 表したいことがより効果的に表せるように、土台となる型の形やお花紙の貼り方、飾り付けの方法をさまざまに試すなど、表し方を工夫して表すとともに、つくったお面で遊ぶことを通して、お面の形や色の面白さ、持ち上げたときの軽さや扱いやすさなどに気づいている。</p>	<p>教師：お花紙、ビニル袋、ビニルテープ、洗濯のり、ボウル、トレー</p> <p>児童：新聞紙、はさみ、型にするプラスチック容器類（カップ、カプセルなど）</p>
どきどきカード	絵	2~4	<p>生活の中でたのしかった出来事、うれしかったことなどをカードにして表す。絵や文章をかけた画用紙を他の紙に貼るなど、絵を見るとときに扉を開いて見るようなたのしいしかけをもったカードを工夫してつくる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 たのしかったことやうれしかったことなどを思い浮かべて、その形や色を考えて、カードのイメージをもつ。</p>	<p>目標 思ったことを開くカードにしたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● カードをたのしく描きましたか。</p> <p>発 ● 表したい場面を思いつきましたか。</p> <p>創 ● カードの形や色、開き方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 形や色、開き方などを工夫することで、表したい気持ちが伝わりやすくなることに気づいている。</p> <p>思 表したい内容に合わせて、形や色、開き方などを工夫して表している。</p> <p>主 たのしかったことやうれしかったことなど、表したい場面を思いつき、どのように表すかを考えている。</p> <p>主 生活の中から自分がたのしいと感じたことやうれしかったことなどを絵と文章にして表すことに興味や関心をもっている。</p>	<p>☆ 生活の中から自分がたのしいと感じたことやうれしいことなどを絵と文章にして表すことに積極的に興味や関心をもち、カードを見る人の気持ちを考えて表そうとしている。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙、共同絵の具</p> <p>児童：クレヨン、パス、カラーペン、はさみ、のり</p>
ピコリン星 ゆめの ステージ	工作	4~6	<p>これまでに経験してきた表現を生かしてつくり、みんなで協力して展示する。テーマは、自分の夢やあこがれ、してみたいこと。自分自身を「ピコリン星人」に置き換えて、夢や願いをかなえている自分自身をつくるようにするとよい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 今までの経験をもとに形や色、材料の組み合わせなどを試しながら、自分の夢や願いを膨らませてつくりたいピコリン星のイメージをもつ。</p>	<p>目標 つくったものをみんなで力を合わせて展示して、たのしむ。</p> <p>☆ 関 ● つくったり、飾ったりして、たのしみましたか。</p> <p>発 ● どんな「ピコリン星」を思いつきましたか。</p> <p>創 ● 材料の使い方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● つくったものをみんなで展示し、たのしく遊びましたか。</p>	<p>知 「ゆめのステージ」の展示では、自分と友達の作品のよさ、および作品を持ち寄ってたのしい「ピコリン星」を表すという活動のよさに気づいている。</p> <p>思 材料の特徴やこれまでに経験したつくり方を生かし、自分がつくりたい「ピコリン星」を工夫して表している。</p> <p>主 自分の夢やあこがれ、してみたいことなどといったテーマ、および材料などから、表したい「ピコリン星」の様子を考えている。</p> <p>主 「ピコリン星人」をつくったり、「夢のステージ」で紹介して展示したりすることに興味や関心をもっている。</p>	<p>☆ 自分の夢を込めた「ピコリン星人」をつくったり、「ゆめのステージ」で友達と共同で展示したりすることに積極的に興味や関心をもっている。</p>	<p>教師：モール、軽量紙粘土、色紙、ホチキス、化学接着剤、透明テープなど</p> <p>児童：透明容器、容器の中に入れる材料やまわりを包む身近な材料、はさみ、接着剤、セロハンテープ、ビー玉、ビーズなどこれまでに経験した材料</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
絵の具で遊んで「自分いろがみ」	絵	2~6	<p>まず、筆を使った技法以外の絵の具遊びから(モダンテクニック)、模様づくりや表現をたのしみ、「自分いろがみ」としてストックする。また、「はらべこあおむし」のようなコラージュによる主人公づくりや、その主人公をもとにした簡単なお話しづくりの絵を表現する。さらに発展として、簡単な絵本をつくってもよい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 絵の具遊びを通して、形や色の組み合わせを捉え、自分の表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 絵の具や用具の使い方などを試したり、見つけたりして、表したいことを思いつく。</p> <p>関 ● 絵の具遊びをたのしみましたか。</p> <p>☆ 発 ● 「自分いろがみ」から、どんな表したいことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 絵の具や用具の使い方などでどこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、つくり出した形や色などの感じがわかっている。</p> <p>知 身の回りのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、絵の具遊びをしている。</p> <p>☆ 思 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけている。</p> <p>主 いろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくり出すことをたのしもうとしていたりしている。</p>	<p>☆ 身のまわりのものを使って絵の具で表した思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、身のまわりのものや絵の具の新しい使い方を豊かに見つけている。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙、ぼかし網、トレイ、スポンジローラーなど</p> <p>児童：水彩用具一式、新聞紙、歯ブラシ、ストロー、ビー玉、スポンジ、その他の身近な材料、接着剤、タオル、はさみなど</p>
見つけたよ、この色 すてきだね、その色	絵	2	<p>絵の具を混ぜてつくる色（混色）を使って、小さな画用紙に花や木・鳥や魚等のテーマで、「色の仲間」づくりをしながら描く活動である。比較的短い時間でできる作品のため、つくりながら自分や友達の形や色のよさや美しさを感じ取るなど、鑑賞と作品づくりをたのしみながら行う活動である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 「色の仲間」づくりをたのしんだり、友達のつくった色を味わったりしながら形や色の組み合わせを捉え、自分の表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 「色の仲間」づくりをたのしんだり、友達のつくった色を味わったりする。</p> <p>☆ 関 ● 自分だけの色をつくることをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 色づくりを試しながら、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>創 ● 色づくりを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達のつくった色を見つけたり、味わったりしましたか。</p>	<p>知 「色の仲間」づくりの活動を通して、つくり出した色や色の組み合わせの感じがわかっている。</p> <p>知 混ぜる絵の具の色の組み合わせや混ぜる量を工夫している。</p> <p>☆ 思 「色の仲間」づくりの活動でつくった色のよさや美しさから発想を広げている。</p> <p>☆ 主 絵の具を混ぜながら「色の仲間」づくりに関心を持ち、自分で表現することや友達の表現を見ることをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 絵の具を混ぜながら「色の仲間」づくりに関心を持ち、自分でさまざまな色に表したり、友達の表現を味わったりすることを積極的にたのしもうとしている。</p>	<p>教師：画用紙(八つ切りの四分の一)</p> <p>児童：水彩用具一式、タオル</p>
リズムによって	立体	2	<p>ここでは、動物たちが踊り出したらたのしいだろうな、と想像したことを粘土で立体に表す内容である。粘土の可塑性を十分に生かせるようにすることが大切である。塊を大きくひねったり、つまみ出したりしながら動きのあるポーズが変化するたのしさや粘土という材料に夢中になって関わる感覚を十分に味わう。</p> <p>〔共通事項〕との関連 粘土をひねったり、つまみ出したりした塊の感じを捉え、自分の表したい動きのある立体のイメージをもつ。</p>	<p>目標 粘土の特徴から動物の生き生きとした動きを工夫する。</p> <p>関 ● 粘土で好きな動物をたのしくつくりましたか。</p> <p>発 ● 表したい動物やその動きを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 動きのあるポーズや表情など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 粘土をつまみ出したり、ひねったりして、形の変化を捉えている。</p> <p>知 粘土をつまみ出しやひねり方を工夫したり、用具の扱いに慣れ親しみながら表し方を工夫したりしている。</p> <p>☆ 思 生き生きとしたダンスの動きや生き物のたのしい表情などを、想像力を働かせて考えている。</p> <p>主 粘土の可塑性をたのしみながら、立体としてつくることに関心をもっている。</p>	<p>☆ 粘土をつまみ出したり、ひねったりして形の変化を捉え、用具の扱いにも慣れ親しみながら、自分のイメージに合わせて表し方を工夫し、効果的に表現している。</p>	<p>教師：粘土1～2kg、粘土板、粘土べら、針金、竹ひご</p> <p>児童：タオル(濡らして絞っておく)</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
トントンつないで	工作	6	<p>まず、上巻「のこぎりひいて、ザク、ザク、ザク」で経験したように、のこぎりで角材をいろいろな形に切る。切った木片と薄い板などを短い釘でつなぐことで生まれる動きから想像を広げ、動く面白ものをつくる。また、作品を見せ合ったり遊んだりすることで、友達とのコミュニケーションの場をもつ。</p> <p>〔共通事項〕との関連 木片と薄い板などを釘でつないで組み合わせることから、それらがつくり出す形や動きの感じを捉え、自分なりのイメージをもつ。</p>	<p>目標 角材と薄い板を釘で打って、つなぎ方や動き方を工夫する。</p> <p>関 ● 釘打ちをして、たのしくつくりましたか。</p> <p>発 ● 釘でつなぐことから、つくりたいものを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● つなぎ方や動きなど、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 角材と板を接合することを通して、形や色、組み合わせたときの動きなどの感じがわかっている。</p> <p>☆ 思 のこぎりや金づち、釘を使いながら、つなぎ方や動き方を工夫して表している。</p> <p>☆ 主 角材と薄い板を釘でつないで生まれる動きから、自分のイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのようにつくるか考えている。</p> <p>☆ 主 角材を切ったり、薄い板と釘でつないだりすることをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 角材と薄い板や組み合わせたときの動きを何度も試すことを通して、形や色、組み合わせたときの動きの感じがよくわかり、のこぎりや金づち、釘などを適切に使い、効果的なつなぎ方や動き方になるように工夫している。</p>	<p>教師：角材(たる木、小割)、板材(杉板、ベニヤ板、アイスの棒やへら)、のこぎり、金づち、釘、紙やすり、木工用接着剤、きり、万力、小刀、竹ひご、小枝</p> <p>児童：木片、身近な材料、カラーペン</p>
木々を見つめて	絵	4~6	<p>木々の形や色、触り心地などの特徴を感じて気に入った木を見つけ、絵の具やクレヨンなどで形や色を工夫しながら、表し方を試したり、見つけたりして描くことをたのしむ。また、木の存在感や枝の形など、自然のもつ生命感にも注目し、自分なりに感じた木を描く。</p> <p>〔共通事項〕との関連 木を見たり、触ったりする活動を通して、形や色、感触などの木の感じを捉え、自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 気に入った木を見つけて、色づくりや筆使いなどを工夫する。</p> <p>関 ● 気に入った木を見つけて、たのしく描きましたか。</p> <p>発 ● 木を見たり、触ったりして、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 色づくりや筆使いで、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 身近にある木々を見たり、触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。</p> <p>☆ 思 絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて表し方を工夫している。</p> <p>☆ 主 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージをもちながら、表したいことを考えている。</p> <p>☆ 主 身近にある木々に興味をもち、自分なりの木を描くことをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 身体全体の感覚を使って、木の形や色、触り心地などがよくわかり、絵の具を使って、色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、感じたことや表したいことに合わせて表し方を十分に工夫している。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙、白ボール紙、黄ボール紙など</p> <p>児童：水彩用具一式、クレヨン、パス、カラーペン</p>
みんなで、どんでんむすんで、つないで	造形遊び	2	<p>試したり見つけたりしながら、自分らしい造形的な表現の発見と追求をする造形遊びの活動である。ここでは、場所を考えて木の枝をひもでつなぐ活動から発想し、つなぎ方やつないだ形の面白さを確かめながら表現する内容である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 枝と枝をつなぐ行為から、枝の形や色の組み合わせなどの感じを捉え、自分のやりたい活動のイメージをもつ。</p>	<p>目標 身近な場所で、枝のつなぎ方を試したり、見つけたりする。</p> <p>関 ● 枝をつないで、たのしく活動しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 場所や材料から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 枝と枝のつなぎ方をどのように工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 枝と枝をつなぐ行為から、枝の形や色の組み合わせなどによる感じがわかっている。</p> <p>☆ 思 枝と枝のつなぎ方や全体の様子などを考えながら、工夫してつないでいる。</p> <p>☆ 主 材料の形や色、場所などを考えて発想し、木の枝などをひもでつなぎながら、どのような構成にするか考えている。</p> <p>☆ 主 木の枝などをひもでつなぐ活動をたのしみながら表すことに興味をもっている。</p>	<p>☆ 材料の形や色、場所などを考えて豊かに発想し、木の枝などをひもでつなぎながら、自分なりの考え方を追求して、どのような構成にするか考えている。</p>	<p>教師：木の枝、のこぎり、ひも、ビニタイなど</p> <p>児童：木の枝</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
カードで味わう、形・色	鑑賞	2	<p>「好きな色・面白い形」の組み合わせを考えて描いたり貼ったりした「模様カード」を数枚つくる。次に、個々のカードを見て感じたことを書いた「言葉カード」をつくり、「言葉カード」と「模様カード」の組み合わせを探る遊びを友達とたのしむ。遊びを通して、自分や友達の感じ方の違いを知り、たのしんだり味わったりする。「言葉カード」を先につくってもよい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 形や色、組み合わせなどをもとに、自分や友達の見方や感じ方の違いやよさを捉える。</p>	<p>目標 形や色について、互いの感じ方の違いをたのしんだり、味わったりする。</p> <p>☆ 関 ● 互いの感じ方の違いをたのしみましたか。</p> <p>☆ 発 ● 形や色から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色の組み合わせなど、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の感じ方の違いや面白さを味わいましたか。</p>	<p>知 形や色、組み合わせなどをもとに、自分や友達の見方や感じ方の違いやよさを捉えている。</p> <p>思 材料の特徴やよさを生かし、形や色の組み合わせを工夫して表している。</p> <p>主 形や色の組み合わせに関心をもって、カード遊びをたのしんでいる。</p>	<p>☆ 形や色の組み合わせに強い関心をもって、表し方を工夫したり、友達の感じ方を認めながらカード遊びを進めたのしんだりしている。</p>	<p>教師：台紙用の工作用紙、色紙、色画用紙、描画材(クレヨン、カラーマーカー、色鉛筆など)</p> <p>児童：はさみ、のり</p>
パックパク	工作	4~6	<p>輪切りにした牛乳パックにつくりたいものに合った効果的な材料を選んだり、イメージに合った動きが生まれるように紙の貼り方や作り方を工夫したりして、面白い動きのするたのしいおもちゃをつくる活動である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きの組み合わせなどの感じを捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 簡単な仕組みを使った動くおもちゃを工夫する。</p> <p>☆ 関 ● おもちゃをたのしくつくりましたか。</p> <p>☆ 発 ● 仕組みからどんなおもちゃを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色、動き方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 動く仕組みに色厚紙を切って貼って動かす活動を通して、形や色、動きの組み合わせなどの感じがわかっている。</p> <p>思 作りたいものの動きに合った材料を選んだり、紙の貼り方や作り方を工夫したりしてつくっている。</p> <p>主 動く仕組みをもとに、作りたいおもちゃをつくることに関心をもっている。</p>	<p>☆ つくりたいものの動きに合った効果的な材料を選び、イメージに合った動きが生まれるように紙の貼り方や作り方を十分に工夫してつくっている。</p>	<p>教師：割り箸、色造形紙、色画用紙、モール、カッターナイフ、カッターマット、クリップ ※ にとっておいた「自分いろいろがみ」もイメージに合わせて活用できるように準備したい。</p> <p>児童：牛乳パック、はさみ、接着剤、カラーペン、セロハンテープ</p>
へんてこ山の物語	絵	4~6	<p>「こんな山があったら面白いな」と、いろいろな山の形を考え、その山を描きながらお話を発想して絵に表す活動である。これまでに経験した表現方法を生かしたり、新たな表現方法を見つけたりして表現する。</p> <p>〔共通事項〕との関連 「へんてこ山」という言葉から形や色を思い浮かべ、それをもとに自分の表したいもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 「へんてこ山」という言葉から想像したり、考えたりして、表したいことを思いつく。</p> <p>☆ 関 ● 想像を膨らませて、たのしく描きましたか。</p> <p>☆ 発 ● 「へんてこ山」という言葉からどんなお話を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 描く材料や、形や色など、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。</p> <p>☆ 思 描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を表している。</p> <p>主 「へんてこ山」を描くことをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 奇想天外な「へんてこ山」の形から想像を豊かに広げ、思いついたお話をどのように表すかしっかりと考えている。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙、児童が必要とする描画用具、アイデアカード、面白い形の山の例</p> <p>児童：水彩用具一式、クレヨン、パスなどこれまでに使ったことのある描画材料</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
つくって、つかって、たのしんで	工作	4~6	<p>棚や箱といった収納機能をもつものやその構造を、板や造形紙などの材料を使って製作し、実際に使うことを通して学び取る。また、つくりたい内容に合わせて材料や用具を扱ったり、手順や方法を確認めたりしながら表す内容である。</p> <p>板材を使った例と造形紙を使った例があり、学校の実情に合わせて選択できるようになっている。</p> <p>〔共通事項〕との関連 板材や紙を材料として、その材料の形や色の組み合わせを試しながら、そのよさを捉え、それをもとに、自分でつくりたいもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 生活に役立つ入れ物や箱のつくり方を工夫する。</p> <p>関● 入れ物や箱をたのしくつくりましたか。</p> <p>発● 生活に役立つどんなものを思いつきましたか。</p> <p>☆創● 形や色、つくり方など、工夫したところはどこですか。</p> <p>鑑● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆知 のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせた形や色やその組み合わせの感じがわかってる。</p> <p>☆知 のこぎりなどの用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。</p> <p>思 板の形や組み合わせの感じをもとに、自分のイメージを広げ、使ったのしいものを思いつき、つくる方法や手順など見直しをもって考えている。</p> <p>主 つくったり、つくったものを使うことをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板の組み合わせを試したりして、板の形や色やその組み合わせの感じがわかるとともに、のこぎりや用具の扱いに慣れ親しみ、板の切り方や組み合わせ方を積極的に工夫している。</p>	<p>教師：〈板の場合〉シナベニヤ板(厚さ3~4mm)、補助的に角材や胴縁材、枝など、ヒートン、紙やすり、木工用接着剤〈紙の場合〉厚口造形紙、接着剤、クリップ、カッターマット</p> <p>児童：身近な材料、水彩用具一式、30cm定規、鉛筆、カッターナイフ</p>
いい場所見つけて、囲んでみよう	造形遊び	2	<p>材料を生かし、場所と関わりながら表現していくことを通して、これまでの経験を総合的に生かしながら活動を展開していく。仕切ることから生まれた空間とさまざまな材料との関わりから見慣れた場所に対する感じ方が変わることをたのしみながら、友達と協力して活動する。学校の諸事情で、屋外で活動するのが難しい場合には、紙袋を使った室内での活動例も紹介した。</p> <p>〔共通事項〕との関連 囲んだ場所の様子と材料を組み合わせでできたものの形や色をもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 友達と力を合わせて、身近な場所を囲む活動をたのしむ。</p> <p>☆関● 友達と力を合わせて、たのしく活動しましたか。</p> <p>☆発● 材料や場所から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>創● 材料の使い方や場所の囲み方をどう工夫しましたか。</p> <p>鑑● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 囲んだ場所の様子と材料を組み合わせでできたものの形や色の感じがわかってる。</p> <p>思 材料の扱いを工夫しながら表している。</p> <p>思 場所を囲むことから発想を広げ、材料を選びながらやりたいことを思いついている。</p> <p>☆主 場所を見つけて、囲むことから思いついた活動に取り組むことをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 場所を見つけ、囲むことから思いついた活動に興味をもって、積極的に取り組もうとしている。</p>	<p>教師：ポリエチレンシート、スズランテープ、養生テープ、ビニル袋、油性マーカー、(紙袋)</p> <p>児童：はさみ、(セロハンテープ)</p>
ハッピーカード	絵	2~6	<p>自分の経験の中から、感動したこと、発見したこと、想像を膨らませてたのしんだことなど、伝えたいことを絵はがきやカードにして表す。造形活動を通して、思いを伝えたり、互いの感じ方や表現の方法の違いやよさを感じ合ったりすることの大切さを十分に味わうようにする。</p> <p>〔共通事項〕との関連 表したい対象や言葉のもつイメージを自分なりに形や色で表したり、組み合わせたりしてつくる。</p>	<p>目標 はがきに絵を描いたり、カードをつくったりすることをたのしむ。</p> <p>☆関● はがきに描いたり、カードにしたりすることをたのしみましたか。</p> <p>発● はがきやカードから、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>創● 形や色をどのように工夫しましたか。</p> <p>☆鑑● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 飛び出す仕組みのカードをつくることを通して、紙の特徴や形、色などの感じがわかってる。</p> <p>知 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて、形や色や組み合わせ方を工夫している。</p> <p>思 贈る相手のことを思い浮かべながら、伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。</p> <p>☆主 つくったカードで気持ちを伝えることをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 贈る相手のことを具体的に思い浮かべながら伝えたいことを思いつき、形や色、仕組みを生かした多様な試みをし、どのように相手に合ったカードに表すか積極的に考えて取り組もうとしている。</p>	<p>教師：はがき大(八つ切り)の(色)画用紙、色紙、色画用紙、カッターナイフ、カッターマット</p> <p>児童：水彩用具一式、カラーペン、色鉛筆などの描画材、とっておいた「自分いろがみ」、布や写真など自分の表現に必要な材料</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
友達、たくさん集まって (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	<p>「自分マーク」など、もとのものの形を決め、それらを何にどのような形や色として、たくさん詰め込んだらたのしさを想像しながら描く。あるいは、それらの面白い並べ方や組み合わせ方を工夫して描く。形や色の並べ方や組み合わせ方、ものの数などの特徴やその面白さを表現していく短時間題材である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 ものの形や色は、その数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などの違いによりイメージや感じが変わることの面白さを知る。</p>	<p>目標 たくさんの同じ形の並べ方や色の使い方を工夫する。</p> <p>関 ● たくさんの同じ形を並べてたのしく描きましたか。</p> <p>☆ 発 ● いろいろな並べ方や集め方を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形の並べ方や色の使い方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 ものの形や色は、その数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などの違いによりイメージや感じが変わることがわかる。</p> <p>思 形や色の数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などを工夫して表現している。</p> <p>主 形や色の数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などの面白さをたのしむ表現を思いついている。</p> <p>主 ものの形や色の数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などの表現に興味や関心をもっている。</p>	<p>☆ ものの形や色は、その数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などの違いによりイメージや感じが変わることがよくわかり、形や色の数量や大きさ、並べ方や組み合わせ方などを工夫して効果的に表現している。</p>	<p>教師：画用紙(16切り) 児童：カラーフェルトペン</p>
願いの種から	立体	4~6	<p>自分の身近な願いに関わる形の種をつくり、そこから育つ茎や根、実や花をイメージしてつくる。ウレタンフォームや発泡スチロールを紙粘土でくるんだり、身近な材料で茎や根、花や実の形や色を考えたりする。願いや夢にまつわるものから発想を広げ、材料の特徴を生かす表し方を試しながら工夫する。</p> <p>〔共通事項〕との関連 表したいものの形や色、材料の特徴をもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 自分の願いや夢から考えたり、想像したりして、表したいものを思いつく。</p> <p>関 ● 自分の願いや夢をたのしんで表しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 「願いの種」から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 材料の形や色、組み合わせ方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 自分の願いを形や色で表す行為を通して、形、色、それらの組み合わせの感じがわかっている。</p> <p>思 材料のよさや組み合わせの面白さを生かし、表し方を工夫している。</p> <p>☆ 思 いろいろな材料の特徴を味わい、試しながら表したいことを考えている。</p> <p>主 願いを伝える表し方に関心を持ち、たのしみながら取り組んでいる。</p>	<p>☆ いろいろな材料の特徴を味わい、組み合わせのよさを試しながら、表したいことを意欲的に見つけている。</p>	<p>教師：軽量紙粘土、ウレタンフォーム、発泡スチロール、木工用接着剤、竹ひご、籐芯材、割り箸、色造形紙、段ボールカッター 児童：水彩用具一式、タオル、身近な材料(ストロー、小枝、布、ペットボトル、綿、紙切れなど)、接着剤</p>
ほとと出てくる不思議な花	絵	4~6	<p>最初の2時間では、彫らない木版として刷りのたのしさを味わう活動を行い、インクの量や色の重ね方を工夫しながら、3~5枚のベースとなる紙を刷る。次時、刷った紙の形や色から想像を広げ、版木の裏面に彫り、版をつくる内容である。これは高学年の彫り進み木版へ発展する活動であり、ここでは2版を重ねて刷ると「彫ったところに下地(紙)の色が出てくる」ことを予想して、彫刻刀による彫りの違いをたのしむことに重点を置きたい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 彫る形や刷る色の組み合わせから、それらが作り出す形や色の感じを捉え、表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 刷りや彫りを試したり、見つけたりして、表したいことを思いつく。</p> <p>関 ● 木版をたのしんで表しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 刷りや彫りからどんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 彫る形や刷る色など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。</p> <p>思 彫刻刀の扱いに慣れ親しみ、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。</p> <p>☆ 思 彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい花を思いつき、表し方について考えている。</p> <p>主 版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりすることをたのしもうとしている。</p>	<p>☆ 刷りのたのしさから次々と想像を広げ、表現するものや構図、色の組み合わせなど豊かに考えている。</p>	<p>教師：版画用シナベニヤ、版画用紙、版画インク、ローラー、練り板、ばれん、すべり止めのネット、ドライヤー 児童：彫刻刀、タオル、新聞紙</p>

■ 令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第4学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
ゆめいろらんど	工作	4~6	<p>ここでは、色セロハンや油性マーカーなどの光を通す材料で、自分の気に入った模様をペットボトルなどの透明容器に施し、中から発した光に色をつけてたのしむ内容である。また、つくったランプを複数集めることで美しさが大きく変わることを経験し、それらの並べ方や展示の方法を工夫したり、さらには暗くした部屋の天井や壁などに反映された模様などを意図的につくったりする。</p> <p>〔共通事項〕との関連 ランプをつくって共同で飾ることを通して、光を透す形や色の組み合わせなどを捉え、自分なりのイメージをもつ。</p>	<p>目標 身近な材料でランプをつくり、みんなで力を合わせて展示する。</p>	<p>知 さまざまな材料の形や色を組み合わせたものに光を透過して試すことから、材料の形や色の特徴や感じがわかっている。</p> <p>用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせなどを表したいことに合わせて工夫している。</p>	<p>☆ 材料を透過する光の美しさや影の形の面白さなどを自分の感覚で強く味わいながらランプをつくり、友達と協力してランプを飾ることを積極的にたのしもうとしている。</p>	<p>教師：油性マーカー、色セロハン、針金、アルミホイル、カッターナイフ、リサイクルばさみ、ペンチ、目打ち、ランプ（LEDライト）</p> <p>児童：ペットボトル、はさみ、身近な材料</p>
				<p>☆ 関 ● ランプをつくり、飾ってたのしみましたか。</p>			
				<p>発 ● 材料やライトから、つくりたいランプを思いつきましたか。</p>	<p>主 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ることをたのしもうとしている。</p>		
				<p>創 ● 形や色、材料の使い方や組み合わせ方を工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 協力して展示し、自分や友達の作品を味わいましたか。</p>			

■ 令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標と振り返り			
感じたままに花	絵	2~4	<p>見たものや想像したものの形や色、印象をもとに、自分なりの描き方で、絵に表すたのしさを感じ取り、心地よさを味わう内容である。見たり想像したりした花を自分の好きな色の絵の具をたっぷり使って描く。細かくかくことから解放し、塗る感覚で、気に入った形や色の組み合わせ、情景などを見つげながら描く。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 感じたことを大切に、花を描くことをたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● 感じたことを大切に、花を描くことをたのしみましたか。</p> <p>☆ 発 ● 見た花から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色、筆の使い方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 友達の感じ取った花のよさを味わいましたか。</p>	<p>知 外に出て花を見たり感じたりすることから、造形的なバランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>思 見たり想像したりした花の感じが出るように、形や色、筆の使い方などを工夫して表している。</p> <p>主 花から感じた味わい、主体的に絵に表わそうとしている。</p>	<p>☆ 自分なりの色をつかって、筆使いを工夫しながら感じたままのイメージを絵に表すことに主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙、共同絵の具(アクリル絵の具、ポスターカラー)、花</p> <p>児童：水彩用具一式、クレヨン、パスなどの描画材料</p>
わたしのお気に入りの場所	絵	4~6	<p>自分にとってなじみのある身近な場所から気に入った場所を選び、改めてよく観察し、その場所への思いを表すため、自分の感じたことを大切に表し方を工夫して絵に表す。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 気に入った身近な場所の描き方を工夫する。</p> <p>☆ 関 ● 自分のお気に入りの場所を見つけて、たのしく描きましたか。</p> <p>☆ 発 ● お気に入りの場所からどんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 色づくりや筆使いで、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 これまでの生活の中で感じ取ってきたことから、身のまわりにある奥行きや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>思 気持ちが伝わるように色使いや筆使いを工夫して表している。</p> <p>主 お気に入りの場所を描くたのしさを味わい、主体的に絵に表わそうとしている。</p>	<p>☆ これまでに経験した表し方を生かして、自分のイメージをよりよく表せるように色使いや筆使い、構図などを工夫している。</p>	<p>教師：画用紙(四つ切り、八つ切り、16切りなど)、色画用紙や黄ボール紙など、デジタルカメラ</p> <p>児童：水彩用具一式、コンテ、クレヨン、パスなどの描画材料</p>
なぞの入口から…	立体	2	<p>「入口」という言葉から、どんな所への入口か想像を広げ、入口の向こうの世界への思いをもって粘土で立体的に表す内容である。</p> <p>入口として、門、ドア、橋、トンネル、穴などから発想し、作りながらイメージを広げて表現する。作品をいろいろな方向から見て立体的に表し、粘土の可塑性を生かして、作り変えながら、表現を深める。</p> <p>〔共通事項〕との関連 粘土の可塑性を生かす活動を通して、形や動き、奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分の表したい立体のイメージをもつ。</p>	<p>目標 「入口」という言葉から想像したり、考えたりして、表したいものを思いつく。</p> <p>☆ 関 ● 想像を膨らませて、粘土でたのしく作りましたか。</p> <p>☆ 発 ● 「入口」という言葉からどんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 表したいものになるように、形をどのように工夫しましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 つくったり見たりすることから、立体の動きや奥行きなどを理解している。</p> <p>思 粘土を立たせたりつけ加えたりするなどして、奥行きのある表し方を工夫している。</p> <p>主 「入口」という言葉をもとに、自分のイメージを持ちながら、表したい形をどのように表すか考えている。</p> <p>粘土の可塑性を生かしてつくりだす喜びを味わい、主体的に奥行きや動きを表そうとしている。</p>	<p>☆ 「入口」という言葉からの発想をもとに、作品をいろいろな方向から見たりつくりかえたりしながら、自分のイメージにふさわしい形をどのように表すか考えている。</p>	<p>教師：粘土(一人1.5~2kg)、粘土板、粘土べら、竹串</p> <p>児童：タオル</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
布や枝のコンサート	工作	4~6	<p>布や枝などの特徴を感じながら、イメージを広げて表したいことを形にする内容である。布は柔らかく広がりをもつことから、巻いたり張ったり包んだりできる。裂けばひものようにもなる。枝は幹や芯などの構造体になる。枝と枝の間に布を張ることで面を見つけたり、枝分かれのところに着目して布を巻いたりなど、思いついたことを試し、その過程で発想したことを表現する。</p> <p>〔共通事項〕との関連 布と枝を組み合わせてつくる活動を通して、布や枝の形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のつくりたいもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 布や枝の特徴を生かした飾りのつくり方を工夫する。</p> <p>関 ● 布と枝でつくることをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 布を枝の特徴から、つくりたいものを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色、材料の組み合わせ方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 異なる材料の組み合わせから生まれた形の動きや奥行き、バランスを理解している。</p> <p>材料の特徴を生かし、材料の組み合わせ方やつなぎ方を工夫している。</p> <p>思 異なる材料の組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。</p> <p>主 異なる材料の組み合わせの面白さや美しさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。</p>	<p>☆ 異なる材料の特徴を生かし、いろいろな組み合わせ方を工夫していくことを通して、動きや奥行き、バランスなどを意識しながら表している。</p>	<p>教師：ベンチ、針金、ひも、毛糸、布切れ、接着剤、枝木、つる、竹</p> <p>児童：布切れ、不要になった布製品、ひも、毛糸、枝木</p>
白い物語	造形遊び	2	<p>身のまわりの白い材料を集め、白さや手触りの違いを味わいながら、思いついた活動をする造形遊びである。生活の中から白い色に注目して材料を集めることから始める。白い材料の違いやよさ、または「白い色」に感じる特徴などを話し合いながら、場所の特徴を生かして活動し、思いついたことを試していく。</p> <p>〔共通事項〕との関連 身近な白い材料を使い、場所や環境を生かしながら、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分で表したい活動のイメージをもつ。</p>	<p>目標 白い材料や場所の特徴を生かしたり、考えたりする。</p> <p>関 ● 白い材料を使って、たのしく活動しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 形や触った感じの違いからどんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 材料や場所を生かして、どんなことを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 場所と材料を組み合わせることから、動きや奥行きを理解している。</p> <p>身近にあるものを材料として活用し、場所との組み合わせ方を工夫している。</p> <p>☆ 思 さまざまな白い材料の特徴や場所との組み合わせから発想し、自分なりのイメージを持ちながら活動したいことを考えている。</p> <p>主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、白い材料を集めて空間に働きかける活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>☆ さまざまな白い材料の特徴や場所との組み合わせから造形的なイメージを広げ、どのようにそれらの特徴を生かした活動をするか積極的に考えている。</p>	<p>教師：材料を貼り合わせる用具（白色のテープ、ひも、白い洗濯ばさみやクリップなど）</p> <p>児童：白い身近な材料、はさみ、ホチキス、大きな紙袋（材料持参用の袋を片づけ用の袋としても活用する）</p>
墨のうた	絵	2~4	<p>墨独特の描き心地のよさや、ぼかし、にじみ、かすれ、軌跡などをたのしみながら、自分らしい表現を見つけていく。また、さまざまな濃さの薄墨をつくったり、縄やスタッフなどでオリジナルの筆をつくったりして表現の広がりをたのしむこともできる。また、消しゴムで落款をつくったり、千代紙などで簡便な表装をしたりして、たのしむこともできる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 墨で描きながら形や濃淡、奥行きや配置などの感じを捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 墨を使って、思いのままに描くことをたのしむ。</p> <p>☆ 関 ● 墨で描くことをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 墨を使って描くことから、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● にじみやかすれ、筆使いなど、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 墨の濃淡や形の表現から、動きや奥行き、バランスを理解している。</p> <p>墨や筆、紙の特徴を生かして表し方を工夫している。</p> <p>思 墨の濃さや筆使いなどをいろいろと試すことから、表したいことを考えている。</p> <p>☆ 主 墨による表現のたのしさを味わい、主体的に新たな表現に取り組もうとしている。</p>	<p>☆ かすれやにじみなど墨による表現のたのしさを十分に味わい、さまざまな用具を工夫して適切に扱いながら積極的に新たな表現に取り組もうとしている。</p>	<p>教師：和紙、画用紙、墨汁、筆、縄、スタッフ、割り箸、水彩絵の具（風絵の具、カラーインク）、千代紙</p> <p>児童：習字用具一式、はさみ、（落款用消しゴム）</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
動き出すストーリー	工作	4~6	<p>いろいろな動く仕組みの面白さを感じ取り、動き方からイメージを広げてつくりたいものを発想してつくる内容である。なかでも「リンク機構」「クランク機構」のもつ規則正しい動きをはじめとして、小さな力（力点）が大きな動き（作用点）となって伝わるたのしさや、支点を少しずらすと思いもしなかった動きに変化することへの驚きなどを発想に広げていく力を育てたい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 簡単な仕組みを使った動くおもちゃを工夫する。</p> <p>関● たのしくおもちゃをつくりましたか。</p> <p>☆ 発● 仕組みからどんなおもちゃを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創● 形や色、動き方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 いろいろな動く仕組みから、ものの動きやバランスを理解している。</p> <p>☆ 思 動き方を試しながら、紙をつないだり描き加えたりしておもちゃの仕組みを工夫している。</p> <p>☆ 主 動く仕組みからおもちゃを発想し、つくりたいもののイメージをもちながらどのように表すか考えている。</p> <p>☆ 主 動き方から発想して表す活動の面白さを味わい、主体的にたのしく取り組もうとしている。</p>	<p>☆ いろいろな動く仕組みや動き方を繰り返し試すことを通じてアイデアを出しながら、動きを生かしたおもちゃの表し方を工夫している。</p>	<p>教師：色厚紙、色画用紙、鳩目パンチ、鳩目、割りピン、和紙、たこ糸</p> <p>児童：はさみ、接着剤、定規、セロハンテープ</p>
強くてやさしい組み木パズル	工作	6~8	<p>かきつぎ（切り込みを入れて組む接合方法）の技法を使って板材を中心に立体的な表現をする。切った部品の組み合わせ方を工夫する。道具の技能面では、前学年の既習である電動糸のこぎりやきりの使い方、また紙やすりの使い方を押さえたい。クラスみんなで協力し合い、部品をつなげて組み立てるものたのしい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 切り方や切り分けた木の組み立て方を工夫する。</p> <p>関● 「組み木パズル」をたのしくつくりましたか。</p> <p>発● 切り分けた木を組み立てることから、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創● 切り方や組み立て方など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 1枚の板を切ることから生まれた形やその組み合わせの動きや奥行き、バランスを理解している。</p> <p>☆ 思 糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。</p> <p>☆ 主 切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。</p> <p>☆ 主 いろいろな組み合わせを試すことでのたのしさを味わい、主体的に表そうとしている。</p>	<p>☆ 糸のこぎりの特性を十分に生かし、曲線切りなど切り方を工夫するとともに、できた形をいろいろと組み合わせさせていくことを通じて、動きや奥行き、バランスなどを意識ながら表している。</p>	<p>教師：木材(杉板が安価、厚さ1cm)、電動糸のこぎり、替え刃、工作用紙(模型・ものさし凹用)、チョーク、紙やすり、きり</p> <p>※修理用…木工用接着剤、間伐材テープ、波くぎ</p> <p>児童：はさみ、部品を入れるビニル袋(大)</p>
クローズアップで見える新世界	絵	4~6	<p>身近な場所の小さな所に注目し、デジタルカメラの大きく拡大する機能を使って接写する。撮影できた画面の形や色の特徴から感じたことや想像したことから思いを広げ、表したいことを見つける。写真に見える形や色の面白さを話し合っって友達の感じ方や考え方を知り、自分のイメージをもつ。思いついた画面の伝え方を考え、登場させるものの大きさや位置など、表し方を工夫する。</p> <p>〔共通事項〕との関連 接写して大きくなった場所の形や色のよさや特徴を捉え、自分が表したいもののイメージをもつ。</p>	<p>目標 接写した写真の形や色から想像したり、考えたりして、表したいことを思いつく。</p> <p>関● 写真に撮ったり、描いたりすることをたのしみましたか。</p> <p>☆ 発● 接写した写真の形や色から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創● 形や色など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 身近なものの形や色に目を向けることから、バランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>☆ 思 絵の具やクレヨンについての経験を生かして、表し方を工夫して描いている。</p> <p>☆ 主 バランスや色の鮮やかさなどの造形的な特徴をもとに、自分のイメージを持ちながらどのように主題を表すかについて考えている。</p> <p>☆ 主 身近にある形や色から想像して表す喜びを味わい、主体的に絵に表す活動に取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 写真に見える形や色の面白さを話し合っって自分や友達の感じ方や考え方を知り、自分のイメージをもちながらそこから広がる物語や出来事を想像して自らが表したい主題を決めている。</p>	<p>教師：デジタルカメラ、写真を閲覧するモニター機器、画用紙、場合によりプリンター</p> <p>児童：水彩用具一式、その他の描画材料</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
白の世界	立体	4~6	<p>軽さや耐久性に優れ、造形的な可能性も高い軽量紙粘土や液体粘土などを使い、思いのままに形ができるたのしさを味わいながら、自分の想像の世界を広げていく内容である。身近材を含め、すべて白に同化させることにより質感も同質化され、形状だけが抽出され、物の形に対する見方が培われる。</p> <p>〔共通事項〕との関連 身近材を液体粘土で固めて立体に表す活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 形の組み合わせ方を考えたり、試したりして、表したい白の世界を思いつく。</p> <p>関 ● 白の世界を、たのしくつくりましたか。</p> <p>☆ 発 ● どんな自分のつくりたい世界を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 材料を生かして、どんな形の組み合わせ方を工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 形の組み合わせによる表現を通して、動きやバランスを理解している。</p> <p>液体粘土の特性を生かし、身近な材料を活用しながら組み合わせ方を工夫している。</p> <p>☆ 思 身近な材料の形や組み合わせから表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。</p> <p>主 形を変えたり組み合わせてつくることのできるたのしさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 身近な材料の形を生かしていろいろと組み合わせを試しながら表したいものをイメージし、どのように表すか考えている。</p>	<p>教師：軽量紙粘土、液体粘土、白い塗料、土台となるもの（板材や段ボール）、刷毛、液体粘土を入れる容器</p> <p>児童：布や身近な材料</p>
はさみと紙のハーモニー	絵	2~4	<p>身の回りにある紙をはさみで自由に切ってコラージュすることをたのしむ。はさみの切り心地を味わい、切った紙を並べたり、組み合わせたりしながら自由に発想を広げ、その形や色の重なりや奥行きなどを生かして表現する。最初から具象的な形に切らないようにしたい。</p> <p>〔共通事項〕との関連 紙を切ったり、並べたりしてながら、形や色、奥行きなどを捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 形や色の組み合わせを工夫する。</p> <p>関 ● 紙をはさみで自由に切ることをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 切った紙の形や色からどんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色の組み合わせ方でどんなところを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところはどこですか。</p>	<p>☆ 知 色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解している。</p> <p>これまでの経験からはさみやカッターナイフなどを活用し、紙の切り方や重ね方を工夫している。</p> <p>思 切ってきた紙の形や色、その組み合わせから自分のイメージを持ち、どのように表すか考えている。</p> <p>主 重ねた感じを確かめながら、いろいろな表し方をしようとしている。</p>	<p>☆ はさみやカッターナイフを巧みに使い積極的に色画用紙を切ったり組み合わせたりすることから、形や色による動きやバランス、鮮やかさを理解している。</p>	<p>教師：各種の紙、色厚紙、画用紙、色画用紙など</p> <p>児童：はさみ、のり、接着剤、色紙などの各種の紙、とっておいた「自分いろいろがみ」</p>
おどる光、遊ぶかげ	造形遊び	2	<p>色セロハンやお花紙、和紙などの身近な材料と組み合わせ、面白い光や影の世界をつくり出す造形遊びの活動である。また、友達と協力して表し方を工夫したり、感じ取ったりする過程でコミュニケーションを深めながらたのしむ活動でもある。</p> <p>〔共通事項〕との関連 光と影の効果を試しながら、形や色、奥行きなどの造形的な特徴を捉え、それをもとに自分のしたい活動のイメージをもつ。</p>	<p>目標 身近な場所や材料・用具の特徴を考えたり、試したりする。</p> <p>関 ● 光る用具を使って、たのしく活動しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 材料・用具や場所から、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 光る用具や材料の組み合わせなどを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の活動のよいところを見つけましたか。</p>	<p>知 さまざまな光と影をつくりだす活動から、動きや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>光る用具や材料を組み合わせ、多様な光と影をつくりだす活動を工夫している。</p> <p>☆ 思 身近な場所に光や影を映し出すことから、どのように活動するか考えている。</p> <p>主 力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>☆ 身近な場所との組み合わせや、光と影の特徴を考えたり試したりすることを通して、造形的な活動を思いつき、周囲の様子を考え合わせたりしながらどのように活動するかについて考えている。</p>	<p>教師：懐中電灯、プロジェクター、様々な光源、色セロハン、ペットボトルなどの透明な容器、鏡、万能ばさみ、各種接着剤、テープ類、不織布、身近な材料</p> <p>児童：ペットボトルなどの透明な容器、色セロハンなど光を透過する色つきの材料、テープ類、身近な材料、はさみ</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
形と色が動き出す (形と色でショートチャレンジ)	絵	2	<p>パターン(型紙)を使って同じ形を複数、繰り返して描くと動きを表現することができる。その方法から思いついてお話を描いていく。あるいは、もとの形や色を連続的に変化させながら少しずつ別のもに变身させていく。ものの連続的な変身を複数の画面で表現する面白さを知らせたい。ここでは、形や色の繰り返し、複数の画面の変化や動きを捉えた表現の面白さを経験させる短時間題材である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 形や色を連続的に繰り返して描くことにより、ものの動きや変化を表現することができることを知る。</p>	<p>目標 形や色の変化、動きを工夫する。</p> <p>関 ● 変化したり、動いたりする絵をたのしく描きましたか。</p> <p>☆ 発 ● 変化したり、動いたりするお話を思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 形や色の変化、動きを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 いろいろな表し方を試すことから、形や色の動きやバランスなどを理解している。</p> <p>☆ 知 パターンの繰り返しや連続的な変化などをもとに、動きを生み出す表し方を工夫している。</p> <p>☆ 思 いろいろな動きをもとに自分なりのイメージを持ちながら、どのような主題を表すか考えている。</p> <p>☆ 主 形や色の面白さを味わい、気に入った表し方を見つけようとしている。</p>	<p>☆ 動きを生み出すいろいろな表し方を試し、それぞれの面白さやよさを捉えながら、形や色の動きやバランスを意識して表している。</p>	<p>教師：画用紙、色画用紙</p> <p>児童：クレヨン、パス、色鉛筆、カラーフェルトペン</p>
見つけたことを話してみよう	鑑賞	2	<p>ここでは、絵画作品をよく見て、絵の中から見つけたことや感じたこと、想像したことなどを友達と話し合うことで、自分や友達の見方や考え方、発想の面白さやたのしさに気づく内容である。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自他の感じ方の違いを通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分なりのイメージをもつ。</p>	<p>目標 絵をよく見て、互いの感じ方の違いや面白さをたのしんだり、味わったりする。</p> <p>☆ 関 ● たのしく鑑賞したり、発表したりしましたか。</p> <p>☆ 発 ● 絵の中からどんなことを感じ、思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 作品の形や色など、特徴を見つけましたか。</p> <p>☆ 鑑 ● 自分や友達の感じ方の違いや面白さを味わいましたか。</p>	<p>☆ 知 絵の中から見つけたことや感じたことをもとに、動きやバランスを理解している。</p> <p>☆ 思 作品の特徴から造形的なよさや美しさ、表現の意図について自分の見方や感じ方を深めている。</p> <p>☆ 主 気づいたことや感じたことを話し合うことから、主体的に作品のよさを味わおうとしている。</p>	<p>☆ 積極的に話し合うことから、自分や友達との感じ方の違いや面白さをたのしんだり、作品のよさや表し方の工夫を味わおうとしている。</p>	<p>教師：関係する資料など</p>
写して見つけたわたしの世界	絵	4~6	<p>ステレンボードの特徴を生かして、身近な材料の型押しやボードの分解・再構成などで版をつくって表す内容である。これまでの経験を生かして、彫り進み版画の技法やパズル版画の方法、またインクの混色や重色の効果を利用したり、ローラーの使い方を工夫したりしながら、試行錯誤して主題を効果的に表現していく。</p> <p>〔共通事項〕との関連 版画表現を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分の表したいイメージをもつ。</p>	<p>目標 ステレンボードの特徴を生かし、刷りや彫りを試したり、見つけたりして、表したいものを思いつく。</p> <p>関 ● ステレンボード版画をたのしく表しましたか。</p> <p>☆ 発 ● 版づくりや刷りから、どんなことを思いつきましたか。</p> <p>☆ 創 ● 模様をつける形や刷る色など、どこを工夫しましたか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>	<p>☆ 知 ステレンボードを使った版表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。</p> <p>☆ 知 ステレンボードによる版表現の特徴を生かして、型押し、切り離し、重ねなど表し方を工夫している。</p> <p>☆ 思 さまざまな方法を試すことから自分のイメージをもち、どのように表すか考えている。</p> <p>☆ 主 版による表現活動をたのしみ、自分や友達の表現のよさや工夫を味わおうとしている。</p>	<p>☆ ステレンボードだからこそできる表し方を積極的に試すことから発想して自分のイメージを豊かに広げ、どのように表すか考えている。</p>	<p>教師：ステレンボード、版画用具一式、ばれん、版画用和紙、水性版画インク、カッターナイフ、カッターマット</p> <p>児童：新聞紙、フォークやキャップなどの模様をつける身近な材料</p>

■令和2年度に旧教科書の下巻を使用する場合の移行措置資料（第6学年）

題材名	内容	時間数	旧学習指導要領における教科書の内容		新学習指導要領における観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
			題材の内容、〔共通事項〕との関連	学習の目標とふり返り			
わたしはデザイナー 12さいの力で	工作	6~8	<p>板材や角材をもとに、何かを入れて使ったのしむものをつくる内容である。だれが、いつ使うのか、どんな材料か、どんな方法でつくるのかなどの構想を練ったり、ふたが開く仕組みを考えたりするなど、つくりたい思いを十分に膨らませてつくる。その際、必要に応じて、アイデアスケッチを取り入れることも考えられる。電動糸のこぎりなど、これまでに使った用具の経験を生かす。</p> <p>〔共通事項〕との関連 自分の感覚や活動を通して、形や色、動きや奥行きなどの造形的な特徴を捉え、これをもとに自分のイメージをもつ。</p>	<p>目標 板や角材を使って、生活に役立つ入れ物を工夫する。</p>	<p>☆知 板材の構成や仕組みから、バランスや奥行きを理解している。</p>	<p>☆ これまでの経験を生かして必要な用具を適切に選ぶとともに安全に注意して巧みに使い、用途に合った材料の使い方やつくり方を工夫している。</p>	<p>教師：工作用紙、板材(シナベニア合板、杉の間伐材など)、角材、木の枝、くぎ、木工用具(金づち、のこぎり、電動糸のこぎり、ドライバーなど)、紙やすり、木工用接着剤、蝶番などの木工金具</p>
				<p>関 ● 入れ物をたのしくつくりましたか。</p> <p>☆発 ● 生活に役立つどんな入れ物を思いつきましたか。</p> <p>☆創 ● 形や色、つくり方など、工夫したところはどこですか。</p> <p>鑑 ● 自分や友達の作品のよいところを見つけましたか。</p>			
伝え方をたのしもう	工作	6~8	<p>「誰に・何を・どのように」伝えるかをグループで話し合いながら考える。同学年の友達やお世話になった地域の人、下学年など、伝える相手に合わせて「伝えたいことや伝え方」を考え、意図に合った材料や製作の計画を立てる。伝えたいことの内容、伝え方に合った材料や用具の特徴をもとに表し方を工夫し、発表したり友達や地域の人たちと関わり合ったりすることをたのしむ。</p> <p>〔共通事項〕との関連 伝えたい相手や伝えたいことをもとによりよい伝え方を捉え、自分たちが表したいことのイメージをもつ。</p>	<p>目標 みんなで力を合わせて、伝えたいことをつくり、発表し合う。</p>	<p>知 身近な材料を組み合わせることから、動きやバランスを理解している。</p>	<p>☆ 相手のことを考えて、伝え方を工夫して表すことをたのしんだり、友達や自分のグループの表現のよさや違いを積極的に味わおうとしている。</p>	<p>教師：児童の計画に合った材料や用具の用意、関わり方の確認。共同絵の具、計画用紙など</p>
				<p>☆関 ● 相手のことを考えて、伝えることをたのしみましたか。</p> <p>発 ● 伝えたいことをどんな方法で表したらよいか思いつきましたか。</p> <p>創 ● 相手に伝わるように、形や色など、どこを工夫しましたか。</p> <p>☆鑑 ● みんなで協力して、伝えたいことをつくらせて発表しましたか。</p>			